

特集 県域JA構想に係る販売事業について(素案)

(ウ)果樹

関係団体と連携し、多様な流通への対応と熊本ブランド力向上を図ることで、農家経営の安定を目指します。

(エ)農産

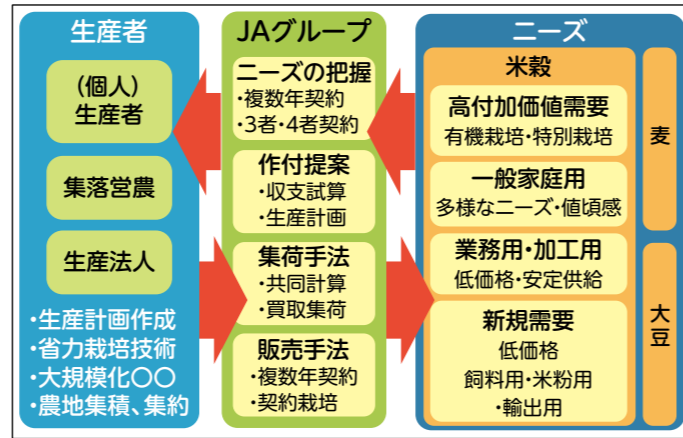
- 主食用米を中心とした多様な用途の米穀・戦略作物の取り扱いを進め、実需者ニーズに基づく生産による安定的な農家所得の確保を目指します。
- 実需者ニーズに沿った生産、安定販売による経営安定を図り、地域の特徴を活かした特産品の販売強化に取り組みます。

(オ)畜産

- ブランド価値向上による生産者所得向上のため、産地間積み合わせによる大都市圏への安定出荷に取り組みます。
- 関係団体及び輸出認定施設と連携し、県産肉牛・肉豚の輸出拡大に取り組み、より一層の有利販売による収益向上を目指します。

(カ)酪農

関係団体と連携した売れる牛乳・乳製品の商品開発を進めるとともに、県域JA内各直売所等、多様な販売チャネルを活かした有利販売に取り組みます。



【実需者ニーズに基づく生産と販売(イメージ)】

2. 効率的な物流の実現

《基本方針》

- 集出荷施設の**共同利用と効率的配置、県域共同物流体制の構築**に取り組み、物流コストの低減を目指す。
- 広域的な拠点整備のため、**共同利用施設の改善と集出荷施設の整備**に取り組み、トータルコスト低減と拠点事業の安定利用を図ります。

①集出荷施設の集約、共同利用物流の効率化・合理化

県域JAでは、地区間での共同利用や効率的エリアの運用を促進するため、共同利用施設の運用改善に取り組みます。また、広域的物流の実践による物流コスト削減のため、**県域共同物流体制の構築**を目指します。併せて、**業務の効率化・円滑化**を図るため、集出荷情報のデジタル化など情報技術を活用した取り組みを進めます。

(ア)園芸

- より広域的な物流の実践による物流コストの削減を目指し、物流合理化に向けた検討と運輸関係各社との連携による県域共同物流体制の構築に取り組みます。
- 広域園芸集送センターの機能向上に向けた設備整備など、効率的な選果体制の構築に取り組みます。
- 集出荷施設の整備や広域利用に取り組み、トータルコストの削減及び拠点事業の安定利用を目指します。

(イ)果樹

関係団体や行政と連携し、地区を越えた広域集出荷体制の検討を行います。

(ウ)農産

- 安全・安心な品質維持を図るためさらなる保管機能の強化と広域利用による物流合理化を図り、トータルコストの削減に取り組みます。また、農産物倉庫への集約保管による集荷率の向上やフレコン・パレット貸し出しによる物流の合理化に取り組みます。
- 広域的な拠点整備のため、共同利用施設の運用改善に取り組みます。



【物流体制再編による輸送の円滑化(イメージ)】

以上、県域JA構想に係る協議体では、このような素案を軸に協議がすすめられています。この他、令和6年4月県域JA発足に向け、様々な協議が行われています。

1. 生産・販売体制の確立

《基本方針》

- 県産農畜産物の販売力発揮に向け、総合的な販売戦略に基づき**多様な販売チャネルを有効利用しての販路拡大**を行い、**県域コントロール機能発揮による有利販売**を目指します。
- 系統結集とスケールメリットを最大限に活かすことによる**安定供給体制の構築と実需者ニーズに対応した販売力の強化**に取り組みます。
- 統一した「くまもとブランド」の確立と認知度向上**に取り組みます。

①県域コントロール機能とスケールメリットを活かした販売力の強化

県域JAでは、**県域コントロール機能向上とブランド価値向上**を図り、スケールメリットを最大限に活かした有利販売に取り組みます。

(ア)園芸

県域JAの実現によるスケールメリットを活かし、関係団体や市場等と連携しながら販売強化を図ります。また、青果物コントロールセンターを軸とした出荷調整やオール熊本としての販売力強化に取り組み、出荷調整機能の発揮と熊本ブランド確立による農家経営の安定を目指します。

(イ)果樹

関係団体と連携しながら、品目ごとの販売時期や販売数量の確保を通じた計画出荷を実現することで有利販売を目指します。

(ウ)農産

- 一元販売体制に基づく販売戦略の構築、また播種前契約・収穫前契約・複数年契約など、事前の契約取引拡大による実需者との安定的な取引の拡大と数量を確保した有利販売に取り組みます。
- 「くまもと茶」ブランドの確立のため、荒茶価格の安定強化と茶業センター仕入れ機能の充実に取り組みます。

(エ)畜産

ブランド価値向上による生産者所得向上のため、大都市圏でのくまもと黒毛和牛(和牛)等の県産ブランド肉牛の認知度向上と、りんどうパーク・熊本SPF豚の銘柄統一によるブランド確立に取り組み、有利販売を目指します。

(オ)酪農

安全・安心でおいしい牛乳・乳製品の安定供給に向け、生乳生産量の増大によるコスト削減を目指します。

②需要に応じた多様な販売チャネルの確立

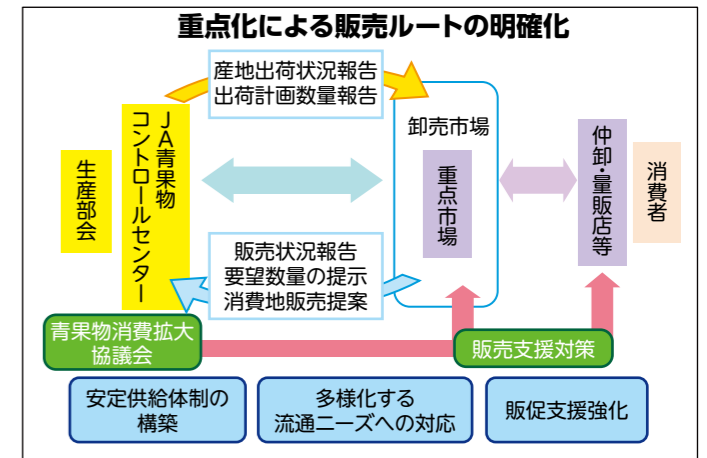
県域JAでは、**実需者ニーズ及び多様な販売チャネル**に対応した販売力の強化に取り組みます。また、**安定的な出荷と取引先の明確化**を進め、**農家経営の安定**を目指します。また、直売所での直接販売や6次化商品での販売に取り組みます。

(ア)園芸

- 産地連携による数量確保と安定出荷による販売力の強化を図るため、特販事業の拡充と産地安定供給体制の整備を進めます。
- 県域での規格・品質の統一を進め、加工・業務用野菜需要に向けた契約取引の強化を行い、安定出荷による農家経営の安定を目指します。
- 県外事務所機能の発揮による重点取引先への推進を強化し、取引先を明確化した実需者ニーズの掘り起こしを行います。
- 関係団体と連携した計画出荷と販売力強化により、流通への対応を強化します。

(イ)花卉

- 実需者ニーズをもとに需要期に向けた予約相対の強化に取り組みます。
- 販売力の強化を図るため、県や関係団体と連携し産地安定供給体制の強化に取り組みます。



【青果物コントロールセンターにおける販売取り組み(イメージ)】